

生活介護施設設立にご支援をお願いいたします。

アールを利用されているメンバーの中には、重度障害のある車椅子を利用されている方が増えてきました。どんな重い障害があろうとも、生きがいをもって自分らしく生きて欲しい、創作意欲が湧いてくる支援と環境を整えたいと考えます。そこで、アールドヴィーヴルは、**生活介護施設を創設させることが最優先課題と捉えて始動いたします。**重度障害者を受け入れるための施設をつくるためには、多額の資金が必要です。活動趣旨にご賛同いただき、夢の実現に伴走してくださる賛助会員の募集と、ご寄付を募ることとなりました。ぜひご協力をお願い申し上げます。

賛助会員へのご入会・継続をお願いします

賛助会員申込書ダウンロードリンク：<http://artdevivre-odawara.jp/supporter/>
 賛助会員（年間）個人 一口5,000円：団体・法人 一口10,000円（ともに一口以上）

ご寄付について アール・ド・ヴィーヴル萩原まで 0465-25-4534 info@artdevivre-odawara.jp

就労支援B型事業所アール・ド・ヴィーヴルでは利用者さんを募集しています

それぞれが得意なことを仕事にし、自分のペースで取り組む事業所です。一人一人をサポートし、アールの仕事を社会と繋ぐスタッフが待っています。お電話またはメールでお問い合わせください。見学や体験は随時受け付けています。

仕事内容：絵画・クラフト・織りなどの制作、自社製品の軽作業、配達、農作業など 利用時間：10時から15時
 昼食：給食あり 施設併用：生活介護施設に通われている方もご利用いただけます。

公共交通機関でのアクセス：

小田原駅西口2番バスのりば | 小田原駅東口2番バスのりば
 久野免河原循環 柿木田（所要時間9分）下車徒歩4分 | 諏訪の原フラワーガーデン行き 中宿（所要時間12分）下車徒歩2分

ボランティアスタッフを募集しています ご興味のある方はメール・お電話でご連絡ください

障がいがある方の活動をサポートして下さるボランティアスタッフを随時募集しています。
 アートワークショップのお手伝い/グッズ制作やイベントのお手伝い/PC作業（写真や商品管理など）



多くの皆さまのご支援、ご協力、ありがとうございました。

- 賛助会員(個人)52名
- 法人会員(42社) 杉崎茂法律事務所 / 中川食肉(株) / (株)スポーツプラザ報徳 / 相洋産業(株) / (有)一寸木建具 / (株)湘南クロス / 竹広林業(株) / (株)小田原衛生工業 / (株)ティー・アイ・シー ミウラ / (株)セットプリント / (株)小田原百貨店 / サンネット(株) / 医療法人鷗友会白鷗医院 / (社福) 県西福祉会 / さがみ信用金庫 / 万葉倶楽部(株) / 鈴廣かまぼこ(株) / (株)エスアールシー / 医療法人山田クリニック / 岡宮産婦人科医院 / 小田原瓦斯(株) / 医療法人けやき会 安間医院 / (株)山崎組 / (有)みのさんファーム / 菅根歯科医院 / ヒューマンズ・ネット(株) / (株)東海ビルメンテナンス / (有)深生 / (有)花のクワン / 西湖ビルメンテナンス協同組合 / (株)T-FORESTRY / ニュートヨオート(株) / (株)アークル / (株)ミクニ小田原事業所 / (合)Sasaki Family Company / アシストクルー(株) / (株)クニヨシ / (株)ういろう / (株)古川 / (株)ジーアンドシーアート箱根クラフトハウス / (株)濱田屋
- 助成事業団体：国際ソロプチミスト小田原 (敬称略)

NPO 法人 アール・ド・ヴィーヴル

- 理事 / 萩原美由紀 / 横田俊一郎 / 杉崎 茂 / 中津川浩章 / 養宮武夫 / 平井巳和子 / 牛山恵子 / ケリー佳枝 / 柴田和生 / 鈴木博品
- 監事 / 川口圭子 / 山崎明子
- 正会員 (41名) 萩原美由紀 / 秋鹿浩史 / 江澤良江 / ケリー佳枝 / 杉崎 茂 / 中津川浩章 / 中山貴子 / 平井巳和子 / 横田俊一郎 / 牛山 恵子 / 秋鹿明子 / 鷺田悦子 / 國兼由美子 / 渡邊礼子 / 川口圭子 / 蘆田浩子 / 塚本やよい / 山田浩子 / 門田美恵子 / 阿部まゆみ / 常盤きえ子 / 山崎明子 / 中清水弘子 / 八木美紀 / 佐藤和美 / 藤田典子 / 藤原明子 / 北村久美 / 飯塚智子 / 高橋久美子 / 齋藤智子 / 養宮武夫 / 柴田和生 / 町田義三 / 梅里稔 / 鈴木幸恵 / 青木俊子 / 石垣由加理 / 待寺幸 / 鈴木博品 / 赤石茶里 / 吉本麗智子

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 906 アネシスヒルズ 102

■ TEL・FAX：0465-25-4534 ■ Email：info@artdevivre-odawara.jp ■ Web：http://artdevivre-odawara.jp

art de vivre NEWS LETTER 5号：発行・編集：NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル 2018年12月25日発行

表紙絵：蘆田珠希 / ページ内の作品：アール・ド・ヴィーヴルのメンバー

Vol.5

art
de
vivre

NEWS
LETTER

2018.12



就労継続支援 B 型事業所 アール・ド・ヴィーヴル 拡大中！

小田原でたったひとつのアートな事業所として生まれたアール・ド・ヴィーヴルは、おかげさまで3年目を迎えました。オープン当初より変わりなく、障がいのあるメンバーたちが作り出すアート作品を媒介にして、社会とつながる事業を展開しています。



アール・ド・ヴィーヴルのアトリエでは、まず最初にパワー全開、全力で制作している姿に出会います。そんな姿を見ていたら、大切にしている事や、こだわり、好きな色、苦手な事、等、どんどん解り始めます。話をしてもっともっと知りたいと思います。そしてどうしたらその表現をもっと広く深く見ることができるだろうかとこちらも全力で考えます。私自身も絵を描くので創作意欲がわく瞬間のとても幸せな時間を知っています。その時間のために利用者一人ひとりが自分らしくありのままに過ごせる場所を理想にがんばっています。日向野祥子（支援員）



木曜の朝は「おはよう」「あ、ケリー君のおばあちゃん。おはようございます」で始まります。アールのメンバーさんの笑顔でスタートもほっこり。私は孫がこちらでお世話になっている縁で、お昼の味噌汁作りを担当しています。最初は人数が多い為、具材の分量や味付けに戸惑いましたが、メンバーさんの味見に Good サインが出るとホッとしていました。その内に積極的に手伝ってくれる様になり、今では出汁とり、具材切り、時には出汁殻でふりかけまで作ってくれます。本当に感動です。沢山の可能性を袋に詰めて、少しずつゆっくり出していく様なメンバーさん達がとてもいとおしく、一人一人の顔を見るだけで幸せな時間になっています。私の身体が長く限り共に続けていけたらと願っています。関谷美智子（ボランティア）

「アールに来てよかったこと」

メンバーに自由に書いてもらいました。

みんなで公園や海に行けること、みんなでお昼ごはんを食べること、
 絵の具をつかって絵をかけること
 みんなの描く絵を見るのが好きです。
 アール・ド・ヴィーヴル楽しいよ☆
 自由でいられるところ つかれたり気分がわるくなってしまうりした時におうちにかえれること。
 ハミングとかしてる人とかがいて、とてもかわいい。癒されます。
 お散歩が楽しい。海とかにもいけたこと。お弁当（海岸で食べた）おいしかった。
 作品をほめてくれる。
 とにかくみんな明るいので アールに行く日が楽しみです
 お部屋がきれい。
 ごはん食べれる事（バランスよく）色々な人から絵を上手いとかほめられる事、色々な人の絵が見れる事。落ち着いて、自分のペースで絵を描ける事。異性と会話できる事。辛い時気持ち楽になれる事、自分の絵が売れる事、好きなことをしてお金が貰える事、自由に出来る事。自分の作品が販売され工賃が貰える事。人としての学べる事。本当の良い人になる事のヒントと言いますか、尊敬できる人としての方々がいる事。笑顔になれること。何気ない会話。趣味や好きなものについて話せる事。
 体調やメンタル面に配慮して下さる事。
 セラピードッグがときどき来てくれて かわいい
 ときどきねむくなるとヨガマットをしてくれるところ
 お茶の時間もまったりほっこりでできて好き。
 好きな人形づくりができる。
 音楽を聴きながら絵を描いたりできる。
 みんな嘘っぽくなくてすなおでかっこつけず、そのままの自分ですごしている姿が強くてすてきなあといつもおもっています わたしはそんな人たちのなかにいるとだんだん心の平穏が戻ってくるようです
 展覧会に自分の作品が飾られるのがうれしい。
 グッズ販売は楽しい。
 畑に行くのも好きです（美味しいブルーベリーも食べられる。）
 モデルがうれしかった
 絵を描く勉強をして Pretty Good です。
 ときどき、お料理するのがたのしい。
 ごはんがおいしいです。ゆっくり食べれるようになりました。
 病院以外でのぼくの居場所が、アールにできました。



みんなでランチの笑顔。お弁当を持ってくる人もいます。



文中に出てくる「モデル」とは...
 さももの濱田屋さまのご好意で撮影会に参加！
 晴れ着の写真をプロカメラマンにとっていただきました。



撮影から帰って
 メンバーが描いた自画像
 うれしさは人を動かす！



販売は人気職種！（小田原ツデーマーケット）

最初は白かったヘルメット
 このあとペイントされます（左ページへ）



作品リース先への配達からグッズ制作、販売、創作以外の仕事も多いアールの事業所。いつもメンバーはなにをするかを自分で決める生活を送っています。障がいのある人にとって「自己選択」って決して当たり前ではないのです。イベントの演出もメンバーと一緒に考え、スタッフはその実現に向けて支えます。やってみたいと思うことは可能な限り実現したい。自分からやりたいと思う気持ちが生きる力になるのです。人はみんな違うもの、お互いが必要とされるもの、生きづらさを抱えた人も他の誰かを癒す。アール・ド・ヴィーヴルにはそんな空気が流れています。そこには支援する人、される人の境界線はなく、スタッフが利用者さんの気配りに心を癒されることも少なくありません。最近では（嬉しい悲鳴ではありますが）ご利用が増えてアトリエが手狭になってきました。車椅子を使用されている方からの利用希望も増えていますが、すべての希望を叶えることができず申し訳ない気持ちでいっぱいです。一日も早く、重度障害のある人たちと一緒に活動できる施設環境を整えるために、新たなステージへと進むべき時が来たようです。

就労継B型事業所アール・ド・ヴィーヴル 所長 萩原美由紀

3年目も
 たくさんのお仕事をいただきました

作品リース

障害のある人の描く美しい作品を見てほしい、彼らのポテンシャルを知ってほしい。そんな思いから始めたリース事業。現在リースの配達・展示作業はアールメンバーが担当しています。大きな額をぶつけないように車から持ち出し（これコツが必要なんです）、テキパキと梱包を解き、キャプションをつける、一連の作業のほとんど任せられるようになりました。交換に赴くと、社員の皆さまに仕事ぶりを見ていただくことができ、交流できます。自分の作品でも仲間の作品でも、作品に興味を持っていただけることは、彼らにとって何よりのよろこびで誇りなのです。

月額 ¥5,000 より・3ヶ月に一度新しい作品と交換いたします・額を設置するための設備や空間コーディネートも承ります。



ピクチャーレールを活用して



壁が使えない場所はイーゼルを使って



軽いキャンパス作品ならプッシュピンで



ふらんす亭



美容室 Mu



(株)鈴廣かまぼこ本社ビル



(株)ミクニ小田原事業所



休憩スペースには数ヶ月に一度、ステキな絵が届きます。美しい色遣いや筆づかい、大胆な構図その発想力に驚かされ、一つの世界が見る人によって広がっていくようにも感じます。一人ひとりの好きなこと、表現力…アートのある空間では、様々なことを感じながら和やかな時間を過ごすことができています。

(株)鈴廣蒲鉾本店
 企画開発部 小川典江さま

ご利用いただいているみなさま(敬称略) ふくらん・美容室MU・小田原市役所・横田小児科・ふらんす亭・循環器中町クリニック・この歯科医院・さがみ信用金庫本店・モルトフェリーチェ・(株)ミクニ小田原事業所・サンネット(株)(小田原本社・新宿本社・日本橋オフィス)・青巒荘(奥湯河原温泉)・(株)鈴廣かまぼこ本社・瑞の香り(箱根強羅)・まるだい運輸倉庫(株)・整体半蔵(麻布十番)・陶板浴ひだまり・小田原ガスエコリア・グリット・(株)クレスコ・日本精鉱(株)・岡藤商事(株)・小田原短期大学・ファレン小田原・ダイニングニコ・(株)松岡東京 Central DC・小田原箱根商工会議所

建築への採用 株式会社松岡 東京 Central DC



2017年5月、川崎埠頭にある企業(株)松岡さまの自家発電所の壁に、アールが壁画を描かせていただきました。

そのご縁で、2018年に建設された新社屋のビル壁面、エントランス、ドアのデザインに、アールの作品を採用していただくことになりました。落成後訪問して、壁面を彩る作品のあまりの大きさに驚愕。作品リースもスタートし、メンバーたちは川崎に赴くことを楽しみにしています。



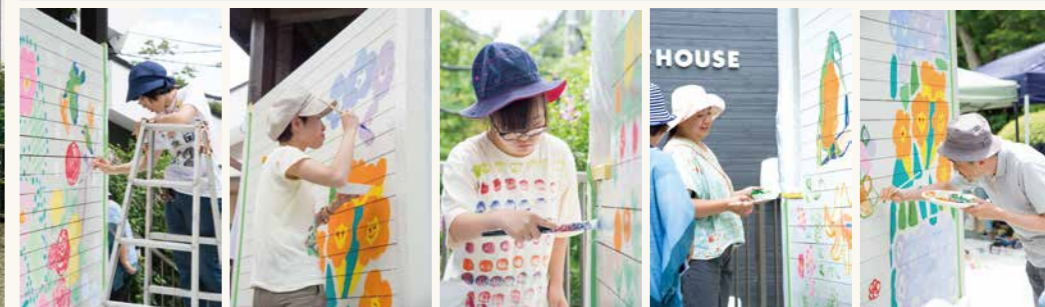
わたし達は来年創業70年を迎えます。小さな活動ですが、これからも何か、地域の方々と一緒に何か活動ができればと、皆さんと出合って考える様になりました。貴重な出会いでした。(株式会社松岡 取締役管理本部長 松岡貴子さま)

委託制作 箱根クラフトハウス壁画プロジェクト(強羅公園)

2018年7月箱根、強羅公園内にある箱根クラフトハウスさまとのコラボレーション企画で、東屋の壁画をペイントするお仕事をいただきました。

「東屋」の存在は私たち作家たちへの創作意欲、発想の起爆剤として良い刺激となり、また来館されるお客様にとっては強羅公園の思い出のスポットとなっています。海外のお客様からもアートとしての評価だけでなく、企画の趣旨を理解し賞賛をいただいています。

このコラボ作品がそれぞれの思いとともにここに存在し、またここから次へと派生して行くよう願っています。(箱根クラフトハウス・陶芸作家 寺本和明さま)



事業所がオープンして3年、少しずつですが思いがけないような仕事ははいるようになりました。今回の箱根強羅公園内クラフトハウス東屋の壁画の仕事。これは将来こういったパブリックな場所に壁画を描くようなことができたらいいなあと漠然と思い描いていたことが実現できた、まさしく夢の仕事でした。でも正直、たくさんの不安が胸をよぎりました。今までほとんど経験のないメンバーであること、描き直しができないこと。自然、植物、生き物など箱根に関係するものを書いてほしいというクライアントさんからの要望にうまく応えることができるのだろうか、などなど。きっとできるはず、でも…

そんな不安を胸に一日がかりの壁画制作がはじまりました。すると、どうでしょう！メンバーは普段通り、鳥や花や自然のイメージをすいすいとためらうことなく描いていきます。絵具が垂れるとそれを上手く利用して画面を作っていく。自分の描いた上から他のメンバーが加筆しても動じない。全体のバランスを考えて描くメンバーもいます。終わってみれば大成功！！

夏の暑い太陽の日差しを浴びながら描きあげた6面の壁画は光の中で美しく輝いていました。

中津川浩章(美術家・アール・ド・ヴィーヴル アートディレクター)

まだまだ続きます アールのお仕事紹介

「みんなあつまれ」ロゴデザイン



障害がある人への差別をなくしともに生きる社会の実現をめざす「ともに生きる社会かながわ憲章」(神奈川県)の理念を広めるためのイベント
神奈川県からの委託を受け「みんなあつまれ」のロゴをアール・ド・ヴィーヴルで制作しました。(WSの様子はP11へ)

イラストはアールの複数メンバーで描きおろし、素敵なロゴにコーディネートしていただきました。
協力: contio / デザイン: ウェダトモミ

「共生共創事業」メインビジュアル



神奈川県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」などの取組とマグネット・カルチャー(マグカル)をクロスさせた新たな舞台芸術関連の事業「共生共創事業」のメインビジュアルとして、アールのワークショップメンバー阿部花凜さんの作品が採用されました。ウェブサイトの他、紙媒体などにも登場する予定です。
ともに生きる ともに創る <http://kyosei-kyoso.jp/>

ラグビーW杯歓迎フラッグ制作



小田原でキャンプを行うラグビーW杯オーストラリア代表チーム「ワラビーズ」を歓迎するフラッグを、小田原市の委託を受けてWSを開催し、制作しました。
チームカラーの黄色と緑をベースにカンガルーやコアラ、選手の姿などを表現したフラッグが完成し、ワラビーズの公開練習・ウェルカムパーティなどで会場を飾りました。

かなチャンTVバックボード制作



神奈川県のインターネット放送局「かなチャンTV」。7月に定められた「ともに生きるかながわ推進週間」にちなみ、番組の背景を飾るバックボードとして、アールの4人のメンバーの作品を用いたデザインが採用されました。

デザインモチーフとしての採用



アトリエで制作された作品をモチーフとして使ったグラフィックデザインやパッケージデザインのご依頼をいただけるようになりました。
用途に合わせて作品をセレクトし、デザイナーと連携してご提案いたします。

- (左) ローカルサミット NEXT フライヤー
ローカルサミット NEXT Odawara 実行委員会
- (中央) 第6回リハビリフェスタフライヤー
神奈川県西部地区リハビリテーション協議会さま
- (右) 小田原ソーデーマーチクッキーパッケージ
小田原市

講演・シンポジウム・ギャラリートーク

様々な場所でシンポジウムなどに登壇させていただきました。

- 2017/11/12 オープンダイアログ理事長と語る(旧瀬戸たばこ店) 12/19 神奈川県立足柄高校 障害者アートについて 講師・中津川浩章
- 2018/2/24 小田原市文化セミナーシンポジウム(市民会館小ホール) 3/24 出生前診断 NIPTシンポジウム(東京女子医大) 4/9 小田原ロータリークラブ 卓話(報徳会館) 7/1 自分らしく生きる7 ギャラリートーク(ギャラリーNew新九郎) 7/20 国際ソープチミスト小田原(報徳会館) 9/26 ガスエネルギー新聞社 研修会(虎ノ門) 10/6 ギャラリートーク(鈴鹿かまぼこ博物館) 10/27 ローカルサミットNext(鈴鹿かまぼこ博物館) 11/25 SDGs かながわフォーラム(小田原箱根商工会議所)

NEW オリジナルグッズ

今期のニューフェイスを紹介します!



新ポチ袋は2サイズ!



オリジナルテキストスタイルでポチを作りました。大人気!



リングノート



一筆箋も新デザインが登場

クリアフォルダ・新デザインが4種



ブローチ・ヘアゴム 帆布バージョンに加えて織りバージョンができました

陶器のオリジナル絵付けも承っています

グッズ常設取扱店舗

伊勢治文具店・生活彩家 小田原市役所7階・カフェリーフ・万葉の湯小田原館・清閑亭・鈴鹿かまぼこ博物館(小田原市) 強羅公園箱根クラフトハウス・天成園・箱根ラリック美術館パッサージュ・奥湯河原温泉 青巒荘(箱根町)・美容室 Mu

出張販売: 2017/11/18~19 第19回おだわらソーデーマーチ
2018/3/4 リハビリフェスタ(小田原アリーナ) 3/17 みんなあつまれ(横浜赤れんが倉庫前広場) 3/21 マーラマポノフラダンス(横浜教育会館) 5/27 子育てフェスティバル・ひよこの会ブース(マロニエ) 5/29 富士フィルム先進研究所 6/15・7/13 湯河原町立美術館 and Garden 7/21 納涼のつどい(小田原養護学校) 9/9 ジブリコンサート(ひのきコンサートホール) 9/22 湘南ベルマーレホームゲーム(平塚総合公園) 9/25 富士フィルム先進研究所 10/7 アンガラマルシェ(酒匂川健康ふれあい広場) 10/14 みんなあつまれ日本大通り 10/21 秋まつり(足柄療護園) 10/23~31 生活クラブ小田原 10/27~28 ローカルサミット in 小田原(鈴鹿かまぼこ博物館) 11/3 相生祭(相模女子大) 11/17~18 第20回おだわらソーデーマーチ 11/7・17・18 あしがらアートの森 11/10 Holo 朝市(上府中公園) 11/23~12/5・NPO 法人 EPO(静岡県富士宮市)

アール・ド・ヴィーヴル オーダーメイド名刺制作サービス

つながるカード

アトリエで生まれた作品をモチーフにオリジナルの名刺をお作りする「つながるカード」これまで400名以上の方にご利用いただきました。新しいデザインがたくさんデビューしました。パンフレットまたはウェブサイトからお申し込みください。

- 通常版 100枚 3,500円
- お名前手描き版 100枚 4,500円
(メンバーがお名前を手描きします)



ほうとくエネルギー株式会社さまお名刺(オリジナルデザイン)

ロゴやお写真をお入れたオリジナルデザインも承っています。お気軽にお問い合わせください。

展覧会

アール・ド・ヴィーヴル展「自分らしく生きる」今期は趣向の違う3つの企画展を開催いたしました。

自分らしく生きる7

2017年11月9日(木)~15日(水) 於・旧瀬戸たばこ店 小田原市本町1-9-47
 スペシャル・ワークショップ「おおたか静流の声のお絵かき」 2017年11月11日(土)午後2時~午後4時
 講師：おおたか静流・中津川浩章・Asu 会場：城山キリスト教会 小田原市城山3-25-33



小田原市内の昭和初期の町家「旧瀬戸たばこ店」で開催した第7回。事業所、ワークショップメンバーの作品の展示と、グッズ販売を行い、理事長トークも開催。メンバーが交代で店番をしました。



特別企画として、歌手のおおたか静流さんをゲスト講師にお迎えした声のワークショップを開催しました。

「音のお絵かきは目に見えません。でも、みんなの心にずーっと残ります。」
 (おおたか静流さん)

自分らしく生きる8

2018年6月27日(水)~7月2日(月)
 於・ギャラリー NEW 新九郎 神奈川県小田原市中里208 小田原ダイナシティ WEST MALL 4F



6年前、初めてアールの展覧会を企画し開催して下さった「ギャラリー新九郎」さんが小田原ダイナシティに移転し、昨年に続き2回目の展覧会を開催させていただきました。ギャラリートークでは、今回もアールのメンバーが多数参加し、輝く瞳で、自分の作品について、自分の言葉で語ってくれました。



そのほかの展覧会・展示

報徳二宮神社絵馬展 (2018/1/1~7・報徳二宮神社) グループ展「Love & Peace」(3/19~30・NPO 法人アクセプションズ・Cafe Papier 神谷町) 生活クラブ生協 (10/23~31・小田原) ローカルサミット Next (10/26~27・鈴鹿かまぼこ美術館) アール・ド・ヴィーヴル展 (11/23~12/5・NPO法人E.P.O. 静岡県富士宮市)

自分らしく生きる9

2018年10月5日(金)~10月18日(木)
 会場：鈴鹿かまぼこ博物館3階 神奈川県小田原市風祭245



鈴鹿かまぼこさまのご協力をいただき、風祭にある「かまぼこ博物館」にて開催することができました。作品展示はもちろん、「アール・ド・ヴィーヴルの仕事」にも光を当てたパネル展示や映像上映、トークなどを行い、アールの6年間を振り返る展示を行いました。かまぼこ板を使った作品制作にも挑戦しました。

映画上映会「ニーゼと光のアトリエ」



2018年3月3日(土) 小田原市生涯学習センター けやきホール

1940年代ブラジルの精神病院、暴力的な治療が常識だった時代に、愛と芸術で患者たちに光を取り戻した女医、ニーゼを描いた映画の上映会を行いました。上映後には、ゲストに作家の田口ランディさんをお迎えしてトークを行いました。

表現する喜びと未来

私は小田原から近い湯河原町で「一人ひとりの個性をだいにする会・色えんぴつ」という発達障害のある方たちの集いを企画しています。2010年にこの会を始めて8年。子どもたちが成長していく過程で、自立支援はとて大きな課題だとわかりました。学校を卒業したあとの就労はどうなるのか。親ごさんたちの悩みは尽きません。「私たちがもし死んだあとには？」という、いつか来る老いや死への不安に立ち向かわなければなりません。学齢期の子どもたちと共に歩んでいる色えんぴつの活動では、就労という課題には取り組めませんでしたし、私自身も「障害のある人が働くにはどうしたらいいのか」既成の概念にとらわれてうまくイメージができませんでした。

ですから、小田原の「アール・ド・ヴィーヴル」の存在を知った時は、「こういう形の働き方があるのか、なんてステキだろう」と、障害をもつ子どもたちの未来にとて希望を感じました。一度、事業所を見学に行きました。通所者のみなさんは、真剣に自分の表現を追求していました。そのまなざしは、まるで「職人さん」のようでした。

絵でも、織物でも、工作でも、料理でも、じぶんが好きなものをつくることで、収入を得ることができれば、こんなすばらしいことはありません。

私の職業は作家です。小説を書いて収入を得ています。私は自分が作家になれるとは思っていませんでした。私がデビューしたのは40歳の時です。親も親戚も「そんなことをして食べていけるのか?」と言いました。私自身も未知の仕事に自信はありませんでした。人は新しいことに警戒します。失敗を怖れるし、保守的になります。それは危険を回避するための本能で、悪いことではありません。多くの人に「作家になるなんて無理だよ」と忠告されましたが、中には「自分が好きなことに挑戦するのはすばらしい、それこそ人生の醍醐味だ」と応援してくれる先輩方もいました。温かい励ましによって安心し、力が発揮できたのだと感謝しています。

「アール・ド・ヴィーヴル」の試みは、何年かすれば必ずこの社会のスタンダードになっていきます。表現する喜びを皆とわかちあう分配のシステムは、先進的です。人はみな喜びを体験するために生まれてきたのです。私は「アール・ド・ヴィーヴル」の活動を心から応援し、協力します。 作家・田口ランディ



ワークショップ

障がいを持つ方ならどなたでも、子どもから大人まで、自由に創作活動ができるアールのワークショップも今年で6年目。すっかり成長して活動の場所が変わったメンバーも多くいますが、いつでも気兼ねなく参加でき、自分の意思で思うままに創作できる場所でありたいと思っています。



アートワークショップ (中津川浩章先生) それぞれが好きな画材を選んで好きな場所で、あっという間に集中して制作します。アトリエで再会しておしゃべりするの楽しみ。保護者にとっても大切な情報交換と息抜きの場になっています。



【開催回数】アート 22回／英語 19回／
ヨガ 18回／織り 20回／料理 4回／
陶芸 2回

お料理ラボ (なかつがわ真基子先生)
包丁や火を使って、みんなで作ってみんなで食べます。
織りワークショップ
水曜の午後、静かな機織りの音がアトリエに響く時間。
ヨガ (YURIKO 先生)
明るくてやさしい先生とのびのびと体を動かします。
陶芸ワークショップ (赤羽孝也先生)
障害のある人の教育に長年従事された陶芸家の先生による自由作陶のワークショップです。

講師より I truly enjoy teaching English to Art de Vivre members. It is very fulfilling to see their English skills grow and watch them enjoy the lesson skits and parties. The Halloween party is one of my favorite events. I always look forward to seeing the interesting costumes the Art De Vivre members create.

アールのメンバーとの英語授業は本当に楽しいです。彼らの英語スキルの成長ぶりをみれるのも嬉しいですし、私のレッスンでは場面に応じたスキットをよくやるのですが、彼らが考えるオリジナルスキットやパーティーはとても面白いです。ハロウィンは私の好きなイベントのひとつですね。アールメンバーのクリエイティブなコスチュームや発想力をいつも楽しみにしています。今年はハロウィンホテルに泊まりにきたら…バージョンのスキットに挑戦しました。(Joy Joy English 講師 Joe Kelly 先生)



恒例夏の合宿にも、音楽・美術鑑賞で新鮮な感動をインプットしてきました。
2018/8/19 河口湖ステラシアター 宮川彬良コンサート 8/20 箱根彫刻の森美術館

スクランブル・ダンスプロジェクト

主催・小田原市役所文化政策課 共催・NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル
協力 大野一雄舞踏研究所 小田原市文化創造活動担い手育成事業

世界的な舞踏カンパニー「山海塾」の舞踏手・松岡大さんを講師にお迎えし、障がいのある人もない人も共にダンスを創る豊かなワークショップを今期も開催しました。作品の発表を目指し、今後も継続していきます。ご興味のある方はぜひご参加ください。



昨年末より、大野慶人さんの後任として小田原市が主催する「スクランブルダンス・プロジェクト」の講師を務めさせていただいております。「障がいのある人もない人も共に楽しもう!」というテーマに沿い、特定のムーヴメントを当て込むのではなく、様々なイメージや設定から表出するからだの動きを「楽しむ」という内容で進めています。このワークショップでは、自分の中に「こうしなければいけない」という思い込みを持たないようにしています。段取りやダンスに対する先入観にこだわらずに、ひらめきの瞬間、場のエネルギーが変化する瞬間を見逃さないようにしています。外側から形を当て込むのではなく、内側から込み上げてくるイメージや想いが、からだの動きや表情として現れるとき、本当にユニークで面白いものが立ち上がりますし、私自身も喜びを感じます。そういう意味では、ダンスを教えるというよりは、からだの無意識からアイデアを引き出し、創造的な時間へと「ガイドする」というような意識が強いのかもかもしれません。スクランブルダンスでは、ときに驚くほど独

創的な反応が返ってくる場合がありますので、一人のアーティストとしても、一人の人間としても、このプロセスを心の底から楽しみ、また貴重な機会として有難く受け止めています。

ダンスの素晴らしさの一つは、言葉を介さない、からだだけでしかできない表現を伝えられるということです。からだでしか伝えられないことの質感やヴァリエーションは、まだまだ無限の広がりを感じていると思いますので、その糸口を見出す機会としてもこのプロジェクトの可能性を強く感じています。

ステージの上では通常、客席に座るオーディエンスに対してダンスを「見せる」ケースが多いと思いますが、ワークショップでは参加者全員が同じ場に立つことで、必然的にお互いのからだの間での交感が生じます。特定のイメージに沿ったからだの動きや、そこから湧き起こる感情を通して、気持ちを繋げ合うことができます。このような方法で導き出される交感を利用して、ワークショップの空間だけでなく、日常に繋がる、そして日常を拓けるコミュニケーションの回路をもっと発見できないかと考えています。スクランブルダンスの参加者の方々は、とてもオープンに、自信を持って、素直に、生き活きと取り組んでくださるので、実際に、皆さんと一緒に場を創っているような感覚があります。イメージすること、模倣すること、逸脱すること、予期せぬ出会い、結ばれること、それらすべてが非言語であっても、心に残るコミュニケーションとしてお互いのからだの間に表出し、人と人とで生きることの楽しさ、エネルギー、そして充実感を生み出してくれています。

そんな場に居合わせられることが嬉しくなりません。(スクランブルダンス・プロジェクト講師 松岡大)



「みんなあつまれ」 公開ワークショップ

2017年 7/20 横浜赤れんが倉庫前広場
2018年 9/22 平塚総合公園 10/7 あしがらマルシェ(松田町)
10/14 横浜県庁前 11/3 相模女子大学



神奈川県からの委託をうけ「みんなあつまれ」のアート部門をコーディネート。障害のある人もない人も、鮮やかな色に誘われ立ち止まり、描いてみようかな?と心惹かれた方が参加ださり、4箇所をアートでつなぐシンボルアートが完成しました。

アールドヴィーヴルのメンバー達が自由に描いているのを見て羨ましい、なぜあんな自由に描けるのかと聞かれることもあり、このようなワークショップからも、ともに生きる社会へ近づくのだろうと実感したイベントでした。